



2021年2月24日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾の伝統と進化を象徴する2つの展示施設が誕生

「福澤諭吉記念慶應義塾史展示館」

「慶應義塾ミュージアム・コモンズ」

今春、三田キャンパスに2つの展示施設がオープンします。

「福澤諭吉記念慶應義塾史展示館」は日本の近代化の歩みを学問と民間分野から大きく進展させた福澤及び慶應義塾の歴史を、数々の歴史資料から展示。1912年に完成した慶應義塾図書館旧館（重要文化財）に開設されます。

慶應義塾ミュージアム・コモンズは、160年を越える歴史の中で慶應義塾が蓄積してきた、多様な領域にわたる文化財コレクションと、その背後にある教育・研究活動をつなぐ「ハブ」となる機関です。アナログとデジタルが融け合う環境を構築し、展覧会、イベント、講義、調査・研究やデジタル・アーカイヴなどを通じて、慶應義塾のアート&カルチャーを社会に開いていきます。

1. 「福澤諭吉記念慶應義塾史展示館」

福澤諭吉と慶應義塾の歴史を、単に一私立学校の歴史回顧の場としてではなく、近代日本の歩みそのものと位置づけ、「なぜ学ぶのか」「公と私はどうあるべきか」「いかに生きるか」といったことを考える場にすることを目指しました。

常設展示は常時100点以上の歴史資料を入れ替えながら、4章立ての展示構成で紹介していきます。企画展示室では年数回、福澤・慶應義塾史に関連した特別展を開催する予定です（最初の企画展は本年7月より開催予定）。デジタルコンテンツや模型なども新たに製作され、何度来館しても発見があるよう工夫を施しています。また、1階にはカフェを併設しています。

一般公開日：2021年5月15日（土）～

場 所：三田キャンパス図書館旧館2階
 施 設：常設展示室、企画展示室（1階にカフェ）
 対 象：一般公開（新型コロナウイルス感染拡大の状況により予約制とする場合あり）
 開館時間：午前10時～午後6時（入場無料）
 休館日：日曜日、祝日、夏期一斉休暇、年末年始
 展示構成：颯々の章 福澤諭吉の出生
 智勇の章 文明の創造と学問の力
 独立自尊の章 私立の矜持と苦悩
 人間交際の章 男女・家族・義塾・社会



塾史展示館の常設展示室

開館時の主な展示資料：サンフランシスコの写真館の少女と福澤諭吉の写真、勝海舟から福澤諭吉に宛てた書簡（行蔵は我に存す）、日本の著作権確立のきっかけとなった福澤著作の版木や偽版、日本初の演説会記録、早慶戦開始のきっかけとなった早稲田大学からの挑戦状、学徒出陣で戦没した学生の遺稿、日本初の乳母車（福澤アメリカ土産）、日本初のA0入試受験要項など。

詳細は <https://history.keio.ac.jp/> にてご確認ください。

2. 「慶應義塾ミュージアム・コモンズ」

慶應義塾は、160年を越える歴史の中で、多様な領域にわたる文化財コレクションを形成してきました。慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）は、慶應義塾のコレクションとその背後にある教育・研究活動をつなぐ「ハブ」となる機関です。

一般財団法人センチュリー文化財団からの美術作品の寄贈と寄付金を基礎に新たに建設された三田キャンパス東別館を拠点に、慶應義塾が得意とする先進的なIT技術を活用し、アナログとデジタルが融け合う新たなミュージアムの活動モデルの提案を行います。

東別館には、展示室、収蔵庫、デジタル・ファブリケーション機材が整備されたクリエイション・スタジオ（KeMCo StudI/O）が備えられ、展覧会やイベントの開催にとどまらず、大学生や一貫教育校の生徒、さらに社会人を対象とした教育活動が展開されます。また、グランドオープンにあわせて、慶應義塾の文化財をオンラインで検索・閲覧できるポータルサイト「Keio Object Hub」も公開し、慶應義塾のアート&カルチャーを社会に開きます。

一般公開日：2021年4月19日（月）～

場 所：三田キャンパス東別館
（入口は構内側ではなく桜田通沿いになります）
施 設：9F－カンファレンス・ルーム
：8F－ケムコ スタジオ KeMCo StudI/O（クリエイション・スタジオ）
：3F－展示フロア
：1F－エントランス・ホール
入 場：当面の間、事前予約制（無料）
予約方法は3月19日（金）以降のKeMCoウェブサイトをご覧ください。
（<https://kemco.keio.ac.jp/>）



三田キャンパス東別館外観

開館時間及び休館日：展覧会によって異なります。

企 画：

① グランドオープン記念企画「交景：クロス・スケープ」

2021年4月19日（月）～6月18日（金） 午前10時～午後6時 土日祝は休館

【第一景】文字景 — センチュリー赤尾コレクションの名品にみる文と象

場所と時代を越えて広がる文字文化の展開を、新たに寄贈されたセンチュリー赤尾コレクションの名品と慶應義塾に蓄積された資料を通して描き、その背後に広がる風景を探ります。

【第二景】集景 — 集う景色：慶應義塾所蔵文化財より

慶應義塾が所蔵する文化財のうち、卒業生の作品や、学内で形成された人的つながりをバックグラウンドにもつ作品を中心に紹介します。

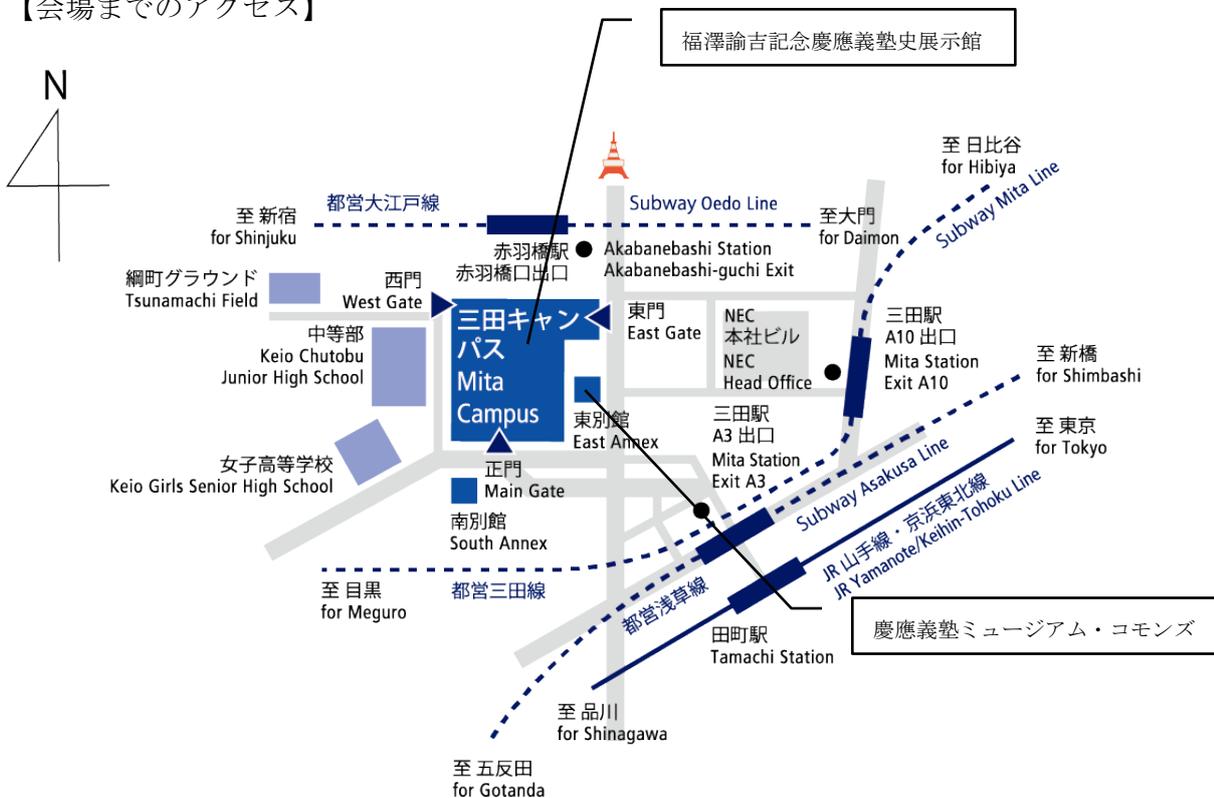
② 国際シンポジウム「本景—書物文化がつくりだす連想の風景」

2021年5月29日(土) 13:00-16:00 東館 6F G-Lab / Zoom Webinar

書物が多様なアートのネットワークのなかで生み出す文化的風景と新たな視点について多角的に検討します。

グランドオープン記念企画では、福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、アート・センター、図書館展示室といった三田キャンパス内の展示施設と連携した展示を行っていきます。詳細は KeMCo ウェブサイト (<https://kemco.keio.ac.jp/>) をご覧ください。

【会場までのアクセス】



※車両の入構はできません。公共交通機関でお越しください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室(豊田)

TEL: 03-5427-1541 FAX: 03-5441-7640

Email: m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>